

# 土偶研究の新展開

～ 資源利用史と土偶祭祀～



## プログラム

- |      |       |                           |
|------|-------|---------------------------|
| 発表 1 | 阿部 芳郎 | 土偶研究の新視点                  |
| 発表 2 | 八木 勝枝 | 岩手県域における後期中葉土偶の構成         |
| 発表 3 | 高橋 満  | 東北地方南部における縄文中期末の人体文・狩猟文土器 |
| 発表 4 | 吉岡 卓真 | 関東地方の後・晩期土偶・土版・岩版         |
| 発表 5 | 中沢 道彦 | 中部高地の後・晩期土偶               |
| 発表 6 | 川添 和暁 | 骨角製儀器からみた文様の関係性とその意義      |
| 発表 7 | 宮内 慶介 | 関東地方を中心とした動物形土製品の形態と文様    |
| 発表 8 | 蒲生 侑佳 | 赤彩技術の空間的展開と儀器生産の関係        |
| 総合討論 |       |                           |

開催日 2024年3月2日 10:00～17:00 (9:30受付開始)

場所：明治大学グローバルフロント1階グローバルホール

人数先着80名(先着順)当日配布資料あり(無料)

連絡先 03 - 3296 - 1873 (明治大学資源利用史研究クラスター)

★資料のみの送付・配布は致しません。